



NEWS LETTER

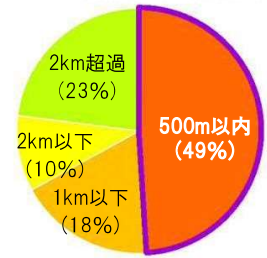
Vol.1

平成29年6月発行

1 生活道路の整備を進めています。

わが国では、生活道路※における安全性を向上させるための取り組みをしています。これには先進国の中で歩行中・自転車乗車中の事故割合が高く、その多くが自宅から500m圏内の生活道路で発生しているという背景があります。

そこで、危険な箇所を事前に把握し、適切な対策を実施しています。幹線道路と生活道路の使い分けを明確にし、歩行者・自転車が安心して利用できる道路環境づくりを推進しています。



自宅からの距離別死者数の割合

※ 生活道路：地区に住む人々が、通学や買い物といった日常生活の中で自宅周辺の比較的狭いエリア内での移動や、地区から最寄の幹線道路にまで利用する道路です。本来は頻繁な自動車通行を前提としない、歩行者中心の暮らしの道と位置付けられています。

2 入江地区の特徴

静岡県内では、41地区が生活道路対策を実施するエリアに選定されました。そのうちのひとつが清水区入江地区であり、エリア内の道路環境の特徴は下記の通りです。

- 地区内での交通事故が多い(3年間で66件)。
- 幹線道路からの抜け道利用がある。
- 地区内に自動車の走行速度が高い箇所がある。
- ゾーン30※対象地域。

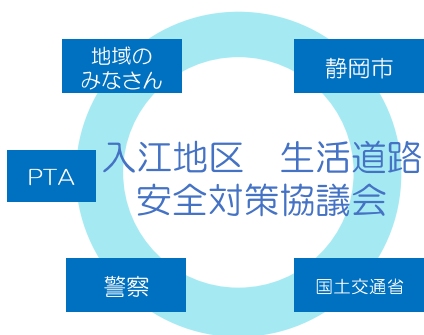
※ ゾーン30：自動車の最高速度を時速30km/hに設定する交通規制を行う区域。その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。



3 入江地区生活道路安全対策協議会

地域のみなさんと関係機関(市,国,警察,PTA)で構成される協議会を設立しました。エリア内で歩行者・自転車にとって危険性が特に高い場所を選定し、交通事故の発生状況や現地点検などを踏まえ、必要な安全対策を検討しています。昨年度は3回の協議会を開催しました。

昨年度協議会の情報はこちら



第1回協議会の様子

日時	協議内容
平成28年10月24日	[第1回協議会] ・交通安全対策推進体制の確立 ・入江地区の交通概況の把握 ・地域のみなさんへ配布式アンケートを実施し、情報・意見収集を行うことを決定
平成28年11月	・アンケート配布
平成29年1月19日	[第2回協議会兼合同現地点検] ・アンケート結果の報告、入江地区の交通課題の把握・共有 ・交通安全対策の方向性設定
平成29年3月15日	[第3回協議会] ・交通安全対策の方針設定

4 アンケート結果

地域のみなさんへのアンケートから情報・意見収集を行いました。

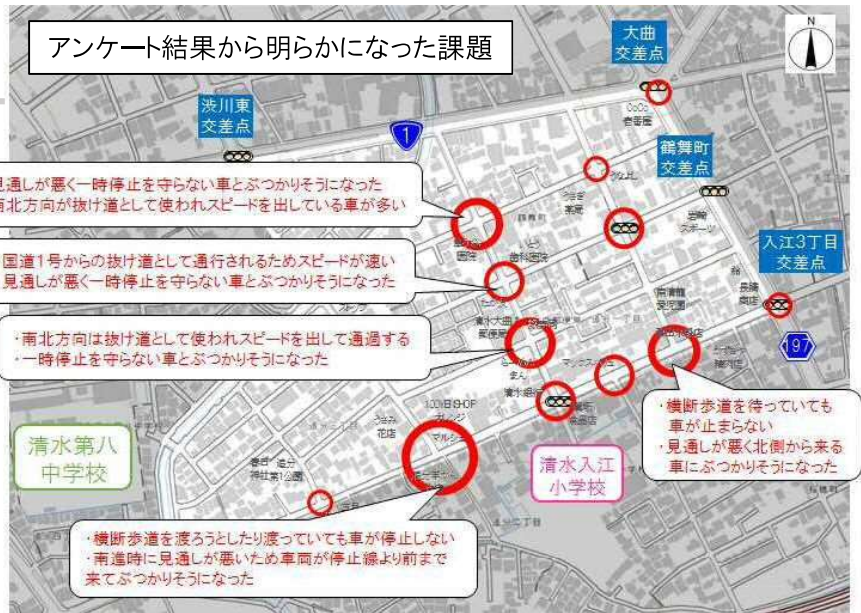
■アンケート対象(回答数)

- ・清水入江小学校児童(49票)
- ・清水第八中学校生徒(104票)
- ・地域にお住まいの方(1,277票)
- ・タクシー会社(24票)

■アンケート項目

- ・ヒヤリハット体験
- ・エリア内を通行する自動車の印象

アンケート結果から、エリア内の交差点・単路・抜け道の交通課題を把握しました。



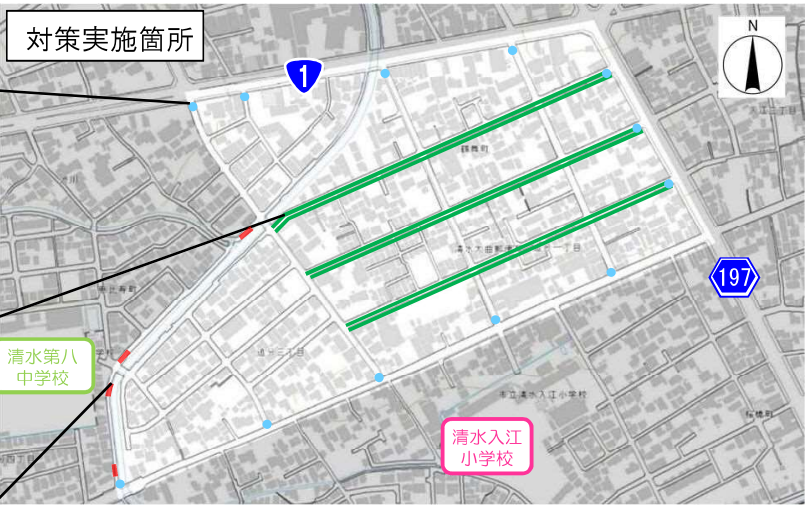
[凡例]

- : 危ないと感じる箇所 (意見の数は○の大きさに比例)
- 🗨️: ヒヤリハット体験 自動車の印象

5 対策方針

第3回協議会にて当該地区の対策方針が決まりました。交通データの分析やアンケート結果から判明した危険箇所について対策を行っていきます。設置に時間を要さず短期間に実施できる対策として、今年度予定している対策は下記の通りです。

課題	対策方針	対策案
ゾーン30エリア内の自動車の速度が高い	表示を目立たせる	ゾーン30表示の強調【12箇所】
エリア内の速度が高い抜け道として利用	歩行空間確保	中央線抹消・路側帯拡幅・グリーンベルト【3区間】
すれ違い時に歩行者と自動車接近	自動車に注意喚起	路面標示「歩行者注意」【4箇所】



- また、今後考えている対策は下記の通りです。
- ・ハンプ 自動車の速度抑制のために道路上に設けられた台形状の盛り上がりのことです。
 - ・狭さく 自動車の速度抑制のために、物理的あるいは視覚的に道幅を狭くすることです。
 - ・自発光銀 交差点をドライバーに認識させるために、地面に埋め込む発光装置のことです。

6 今後の予定

今年度は、仮設ハンプによる速度抑制実証実験の実施を考えています。実験前後の交通状況の調査を実施し、恒久対策としての可能性を検証をしていきます。実証実験に関する詳細の内容については次号に予定しております。ご協力をお願いいたします。



NEWS LETTER

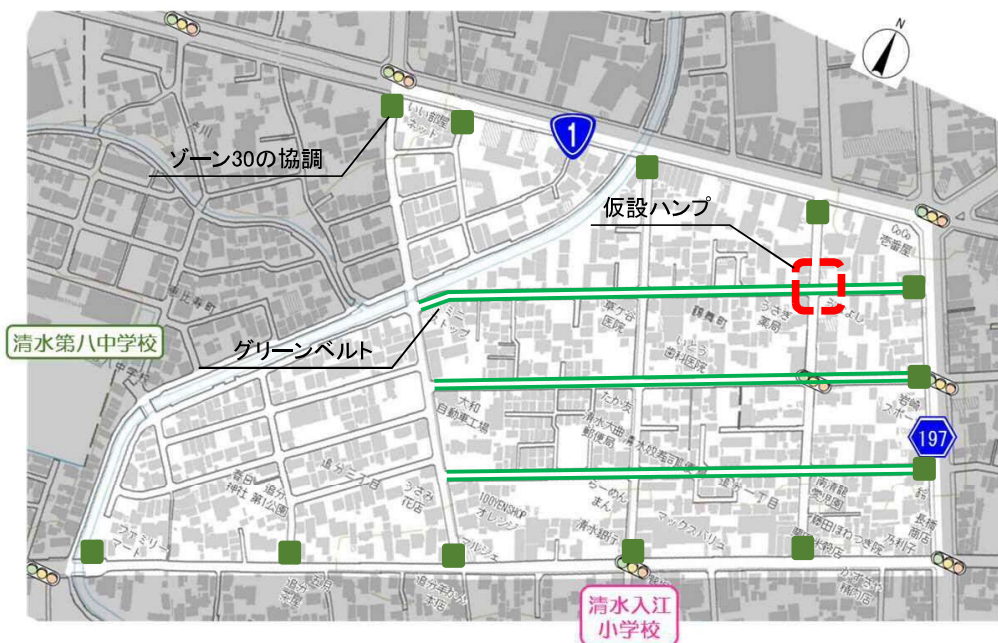
Vol.2

平成29年7月発行

1 地域の皆様と考えた交通安全対策を実施します。

日常生活で利用する“生活道路”では、交通事故が多く発生しています。生活道路を通り抜ける自動車や、スピードが速い自動車が多いことが、交通事故発生の原因のひとつになっています。

こうした問題に対し、実証実験による効果検証や整備を行っていきます。



協議会の様子



グループワーク



危険箇所の現地点検

■ 2 参照 ■ 4 参照

2 仮設ハンプ※を設置し、効果を検証します。

設置場所



※ハンプ
自動車の速度抑制のために
道路上に設けられた台形状
の盛り上げりのこと



ハンプを一時的に設置する実証実験により、速度の抑制や抜け道利用に対する効果、また地域住民の方々への影響を調査します。

実験期間は9月に2週間程度を予定しています。

イメージ



3 実証実験に伴うお願い

- 1 ぜひ設置状況をご覧ください**
実験ではハンブを仮設置し、効果や影響を検証するものです。
短期間の設置となりますので、期間中にぜひ自転車や自動車です実際に走行し、設置状況をご覧ください。
- 2 通行する際はご注意ください**
ハンブは速度30km/h以下で走行すれば不快感はないとされています。
速いスピードで走行すると、思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分ご注意ください。
- 3 設置・撤去に伴う工事を行います**
実験を行う場所の周辺で工事や調査を行います。細心の注意を払いますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。
- 4 ご意見をお聞かせください**
地域の皆様を対象にアンケート調査を予定しています。感想や、通過する自動車の変化など、ご意見をお聞かせください。

4 短期対策を実施します。

路肩拡幅＋グリーンベルト※の設置、センターラインの消去

センターラインを消し、路肩を拡幅することで、自動車の速度を抑制するとともに、歩行空間を確保します。



ゾーン30※の強調表示



※ゾーン30 区域を設定して最高速度30km/hの区域規制やその他の交通規制等により速度抑制や抜け道利用の抑制・排除を図るもの

5 今後の予定

実証実験に関する期間等が確定しましたら、回覧等でご連絡いたします。また、工事看板等を事前に設置し、通過する車両等へも周知いたします。

実験結果については、第4回入江地区生活道路交通安全協議会で報告するとともに、次号でも報告いたします。ご協力よろしくお願いたします。

NEWS LETTER Vol.3



生活道路
対策情報
はこちら

平成29年12月発行

1 仮設ハンブ※1による実証実験を実施しました。

平成29年9月13日(水)～26日(火)に、「ハンブ」を一時的に設置する実証実験を実施しました。交差点におけるハンブの設置は静岡県内で初となる試みであり、自動車の速度抑制効果が期待されています。



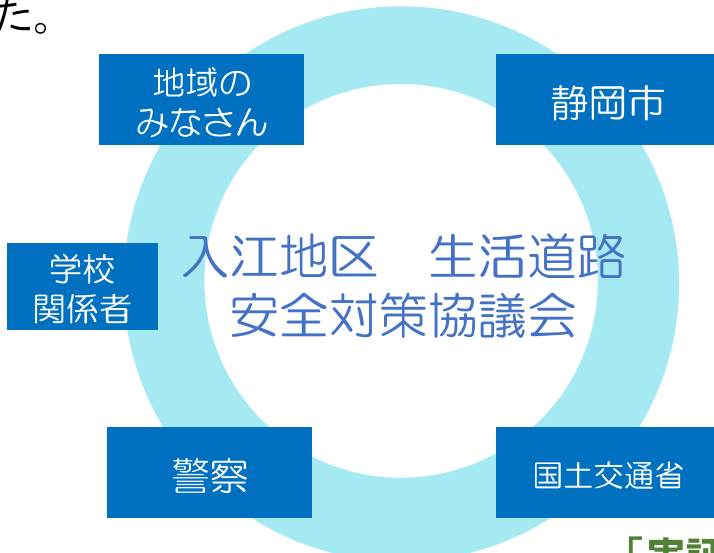
※1 ハンブ

自動車の速度抑制のために道路上に設けられた台形状の盛り上がりのこと

2 交差点へハンブを本格設置する方針が決定しました。

平成29年11月28日(火)に、地域のみなさんと関係機関(市,国,警察,学校関係者)で構成される、第4回目※2の協議会を開催しました。

協議会では実証実験の効果検証結果の報告や今後の方針について話し合い、実証実験を実施した交差点へ、ハンブを本格設置することが承認されました。



※2 第1～3回協議会は平成28年度に実施

「実証実験の結果」「今後の方針」は裏面へ

3 実証実験の効果検証結果

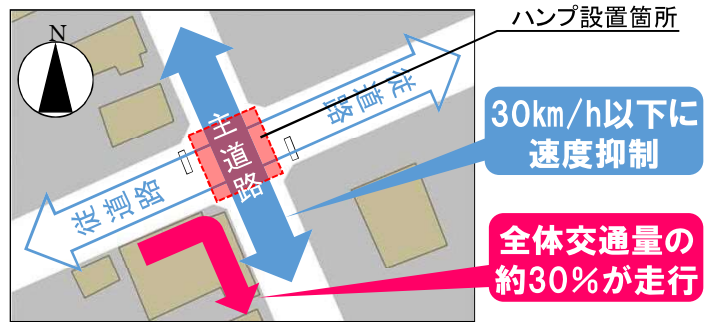
ハンプ設置による実証実験では、下記のように良好な効果が得られました。

1 交通量調査

ハンプ設置前後で大きな変化はない。普段から西から右折し南進する自動車が多いことがわかった。(全体の約30%)

	自動車類計 (小型、大型、二輪)	歩行者 自転車計
設置前調査	1,866	781
設置中調査	1,895	834

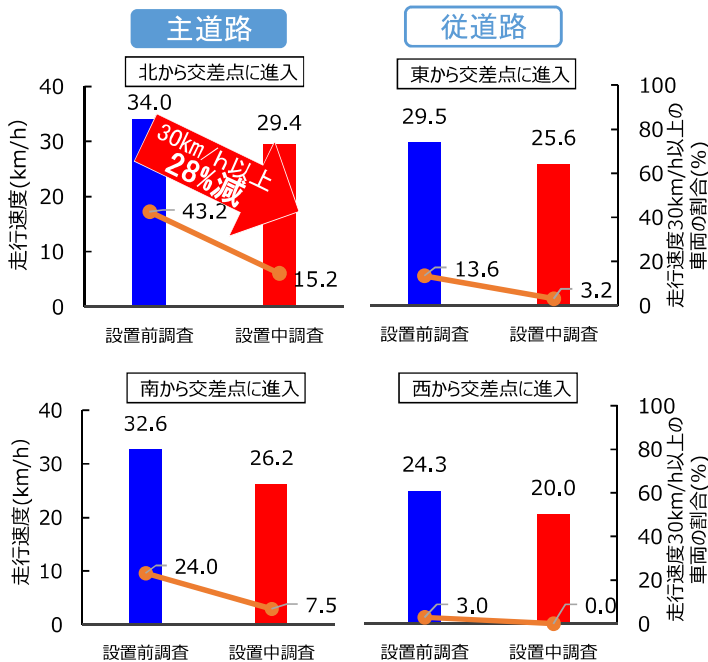
(単位：台or人)



この交差点においては、一時停止のない道路を主道路、一時停止のある道路を従道路として考えています。

2 走行速度調査

いずれの方向においても、ハンプ設置前に比べ速度は抑制された。また、30km/h以上で走行する自動車の割合も減少した。(最大28%減少)



3 騒音・振動調査

ハンプの設置の有無によらず、騒音・振動とも大きな変化はなく、環境への大きな影響はない。

代表地点数値 (単位：dB)	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間
設置前調査	59	52	33	25
設置中調査	57	50	33	26

※昼間は6:00～22:00、夜間は22:00～6:00

4 アンケート調査

地域の皆様、学校、タクシー事業者を対象にアンケート調査を実施。

- ドライバーからの回答
 - 約9割：スピードを落として走行した
 - 約8割：問題なく運転できた
- 歩行者からの回答
 - 約7割：普段通りに通行できた
 - 約6割：騒音・振動について気にならない
- ハンプの印象についての回答
 - 約6割：運転者の交通安全意識が高まる
 - 約7割：速度抑制効果が期待できる

4 今後の方針

H29年度の予定

実験結果等を受け、第4回協議会において下記事項が承認されました。

- 協議会で決定した内容を整備(グリーンベルト、「ゾーン30」強調)
- 交差点ハンプの本格設置



H30年度以降の予定

入江地区生活道路安全対策協議会は今後も継続的に実施し、さらなる対策の検討・充実を図り、生活道路の安全のため推進していきます。